

南幌町議会まちづくり特別委員会記録

【第10回】 令和 年 第 回議会（定例会・臨時会）（開会中・ 休会中 ・閉会中）			
会議日時	令和 6年 3月 6日 午後 1時45分開会 令和 6年 3月 6日 午後 3時10分閉会		
場 所	各種委員会室		
出席者数	委員10名中10名出席		
出席人員	西股 裕司	家塚 雅人	湯本 要
	星 真希	熊木 恵子	佐藤 妙子
	細川美喜男	加藤 真悟	石川 康弘
	高橋 修平		
上記以外の出席者	側瀬 議長		
欠席人員			
説明のため出席した者			
付議事件	【報告事項】 ①総務常任委員会 ②産業経済常任委員会 ③議会運営委員会 ④広報特別委員会 ⑤一部事務組合 ・長幌上水道企業団議会 ・南空知公衆衛生組合議会 ・南空知葬斎組合議会 ・南空知消防組合議会 【協議事項】 (1) 議会報告懇談会の意見集約について (2) その他		
傍聴者	1名（評価提言者：丹藤）		
会議の概要	別紙のとおり		

上記記録は事実と相違ないので署名する。

令和 年 月 日

南幌町議会まちづくり特別委員長

第10回南幌町議会まちづくり特別委員会会議録

(R6.3.6 13:45~15:10)

局長 ただいまより第10回南幌町議会まちづくり特別委員会を始めてまいります。開会に当たりまして、西股委員長から御挨拶をお願いします。

西股委員長 今日は定例会の初日終了後ということで、大変お疲れのところお集まりくださいましてありがとうございます。明日は10名の議員による一般質問が行われますので、今日はできるだけ短い時間で進めていきたいと思っております。そういうことでご協力を願いたいと思います。早速会議のほうに移らせていただきます。

本特別委員会は本日1日間の日程で行います。委員各位に申し上げます。発言を行う場合には挙手をして、委員長の許可を受けてから発言してください。質問は要点を簡潔明瞭に発言してください。また、私語は慎むようお願いいたします。なお効率的な議事の運営に努めてまいりますので、委員各位におきましても御協力をお願いいたします。傍聴者はいないので、割愛させていただきます。

本日の出席人員は10名です。なお議長も出席していただいております。直ちに会議を開会いたします。

【報告事項】

西股委員長 それではまず報告事項ですが、各委員会からはございません。ということで、事務組合のほうを中心に進めたいと思っておりますがよろしいでしょうか。(はいの声)

それでは長幌上水道のほうからお願いいたします。

家塚委員 第3回の長幌上水道企業団の定例会が2月27日に開催されております。議案内容は、長幌上水道企業長の給与に関する条例の一部改正、条例の専決処分、長幌上水道企業団給水条例等の一部を改正する条例ほか1件です。それと令和5年度長幌水道企業団水道事業会計補正予算(第1号)、あわせて令和6年度長幌上水道企業団水道事業会計予算について、以上5件の議案について承認・可決をしております。以上です。

西股委員長 続きまして、南空知葬斎組合のほうは。

加藤委員 南空知葬斎組合議会は、2月22日に第1回定例会を開催しております。議案等につきましては、資料を今日持ちあわせておりませんので割愛します。

西股委員長 続きまして、道央廃棄物処理組合議会は。

側瀬議長 この間説明したのですが、町長からの話もあったとおり4月1日から供用を開始すると。もう供用開始はしているんだけど、何回も言うようだけでも、持ち込みは4月1日からフル稼働するということです。あとは外構工事がまだ残っているという形で、これから起きてくるのは出た廃棄物の処理について、最後の焼却したものをどこに埋めるのか、どうするのかというのが、今北広島にするのか千歳にするのか。南幌町というより、3町の場合はまだ南幌に入るものだから、まだしばらくの間はいいんだけど、そういう形になっています。

西股委員長 これは稼働したら視察には行けるんですか。

側瀬議長 いや、視察はまだしない方がいいと思う。まず外構もみんな終わって少し落ちついて、そして逆にいえばほかの町のごみの袋とか、ああいうのを見てそれから行ったほうが、資源ごみというか、そういうものうちの袋の状態とほかの町は違うから。それと一番大事なのが、結局分別しないで燃やすごみ。ほかの町は燃える、燃えないでやってしまうわけだから。だけどそこで売電で6,000万円入るということは、結局分別しないで有効利用になるから、逆に言ったら今総務委員会で一生懸命やっている高齢者のごみはそういう形でもいいんじゃないかというのが自分の発想で、それもこの間町長や副町長に少し話したら、いや、ほかの2町がと言っているから、ほかの2町は関係ないでしょうって。でも組合がと言っているから、その辺は細川議長の手腕に任せるので。できないなら自分がやってもいいんだけど、頼みます。

西股委員長 それを受けまして、次はちょうど公衆衛生組合です。

細川委員 南空知公衆衛生組合は、2月28日に第3回定例会を開催しております。私も資料を持ってこなかったのですが、令和6年度の予算が可決されまして、あとは公平委員の選任が3名ありました。終わった後に、初めての第1回の議員懇談会を開きまして、時間は短かったんですけども各町の課題等について打ち合わせをしております。以上です。

西股委員長 消防組合のほうは。

家塚委員 第1回の南空知消防組合定例議会が2月26日に開催されております。1名から一般質問がありまして、栗山町の斉藤議員から、工業団地で火災があった件についての消防団・消防署の対応についてということでした。それと南空知消防組合の職員の給与条例に関する条例の一部改正についての専決処分、令和5年度南空知消防組合補正予算（第3号）、あわせて令和6年度南空知消防組合会計予算、南空知消防組合手数料条例の一部改正条例ほか4件について可決をしております。あわせて公平委員会の選任について、栗山町は坂口 由紀子氏、長沼町は相澤昌之氏、南幌町は渡邊 修一氏、それぞれ町の公平委員ですが、この3名の方が承認を受けてございます。以上です。

西股委員長 ふるさと市町村圏組合は。

側瀬議長 ふるさと圏の資料はここにあるので、あとは長幌もあるし、石狩東部のやつも後で置いておくので見てください。基金の流れでは予算的に1,500万円くらいで物事が進んでいるので。結構ふるさと圏のやつは面白い中身が載っているので、言葉で言うより見たほうがわかりやすいので、置いておきますので後で見てください。見て、何かあれば質問してください。

西股委員長 ということで、皆さんよく読んでください。

【協議事項】

（1）議会報告懇談会の意見集約について

西股委員長 それでは続きまして、協議事項ということで前回行われました議会報告懇談会についてです。事前に広報委員長のほうにはまとめをお願いしたのです

が、懇談会をやってどうだったのかということについてのお話をお願いします。言っていないでしたか。では次回までにそれをまとめておいてください。

それでは続きまして、いろんな意見が出てきておりまして、皆さんのお手元に各委員会ごとに分けた資料が配られていると思うのですが、この中で住民からの意見が漏れているですとか、この委員会のテリトリーが違うんじゃないとか、その辺のものがありましたら教えていただきたいと思います。私の指示で事務局が分けたので、私が間違っている可能性もあります。特になければ、これらの中身を見て何かご意見等があれば伺いたいのですが、いかがですか、

石川委員 少し細かい話ですが、1番の部分の通学路の街灯の字が違いますよね。それと、産経のほうの2番目と5番目の関係ですけども、将来的に人口が減少すると言われていたけども町の将来を見据えた考えはという問いと、それから人口の増減について長いスパンで考えてほしいということで、これは類似している質問だと思うんですよね。私としては一緒にしてもいいかなというふうな形で捉えたんですけれども。

西股委員長 とりあえずカットしないで、そのまま全部出たものを今回載せさせていただきました。

石川委員 類似しているということだけ意見を言わせてください。

西股委員長 それであれば、これはどちらかカットするなり何なりという形で組みます。そのほかに何か気づいた点があれば。特にはないですか。(なしの声)

では次のステップとしては、各委員会がこの内容に基づいてどのようにしていくのかという形で協議していくのと、それを今度は次のまち特の中で発表していただくような形を組みます。ですからその時にはまとめとして、広報委員長のほうから今回の総括をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。(はいの声)

次のまち特は下旬くらいに考えております。今は26日前後に委員会が開かれるということですので、その中でいろいろ検討なされたことはやっていっていただきたいのですが、よろしいでしょうか。(はいの声)

今この関係につきまして、議長のほうから何かあれば。

側瀬議長 どちらにしても、意見の中で言ったことに対するまとめというのが聞かされていないという意見があったような気がするんだよね。それをどういうふうに周知していくのかというのは大きな問題かなと思っていたし、多分そういう質問がくるなと思って、それでしつこいかもしれないけど代表質問の中でいろんな住民から上がったものもまとめてやってくれたら、こういう形の中で反映しているんだということもできたのかなと思いながら、そういう話もしたつもりだったんだけど。これもちょっと反省しながら、なかなかその人が言ったことを議会で反映するかといったらそうもならないから。それだったら多くの住民のほうを話していないから、逆に言えば物を言わない住民の意見をどうやって汲みとるかのほうがよっぽど難しいと思うんだけど。そういうことも踏まえて、やはりピックアップしてどこかに広めることを考えなければいけないかなと。

それと、何か毎月でもいいから、そういうミニコミ誌でも出せみたいな話もあったんだけど、そうやっていくとなかなかそれに追われて、本来の議会活動ができな

くなるのかなというところがあるので、その辺も言われたことについては取り組んだスタイルのことをみんなで考えてくれれば。自分は何でもやれとは言わないし。

西股委員長 それはやはりいろいろ検討しながら、特に広報委員会の関係の中でどのように町民に周知していくのかということをおわせて考えていってもらえなというふうに思います。

側瀬議長 その都度出していくなら簡単なんだけど、予算的にはもう議員の自賄いで予算を出していけば結構やれると思うんだけど、そのことも中で考えていったほうがいいのかもしいし。ちょっとずれている意見は構う必要はないから、それはちゃんとそういうことではないからと言えいいだけの話だけど、中にはやっぱりちゃんとした意見もあるから、その辺はまともに聞いてやらないと。乗らないのはやっぱりまともでないから乗らないというのを、うすうす言うんじゃないで向こうで感じてもらわなかったから。議会というのはそういうメリハリをつけたほうがいいかなと思うので。忙しいだろうけど。

西股委員長 あとは、各委員会でやる時には広報に回答を載せるかどうか検討してほしいですね。これはいらない、いるというすみ分けをきちんとしてやらないと、全部広報委員会のほうに負担がかかってくるので。そこは載せる、載せないという報告を上げて、まち特の中で協議していったほうが早いのかなと思いますので、すみませんがよろしくお願ひしたいと思います。ほかにご意見はありませんか。

家塚委員 事務局のほうで整理していただいた1班の質問、2班の質問で、それぞれ中で回答している部分もあると思うんですね。私は1班だったので、1班の中では大体ご意見などは感じ取ったんですけど、やはり2班には出ていないので、当然皆さんそうだと思うんですけども、ニュアンス的にどうだというのがこの文書だけで見てもなかなかきちんと伝わらないというか、受け止めができない部分は当然あるんだなという感じはします。それで、それをまとめていただいたのが今日の資料で、それぞれ総務委員会でこういうこと、産経でこういうことですよ。ですから中には当然1班、2班で出た人がいるので、その中で十分協議をして原課に話をして行くだとかというのもあるので、その中で、前段で十分懇談会の中の雰囲気も聞かせていただいてという気持ちはしています。

それと、総務常任委員会のほうの7番の、中学生などを対象にして子ども議会を開催してはどうかという意見があるのですが、これはまち特の中でも議論しているものですよね。ただ、学校のほうは年間のカリキュラムがもう決まっているので、はたして令和6年度にできるかどうかというのはあるのですが、なるべく早く校長会を通して教育委員会に話したほうが、ちょっとすり合わせも当然あるので、動けるものはなるべく早く動いたらいいのかなという感じはします。以上です。

西股委員長 総務委員会のほうはいかがですか。

熊木委員 総務委員会もこれを先日送ってもらって読んでいて、私も家塚さんと同じく1班だったものですから、2班で出た質問が頭出しされていて、でもそこに半分ずつ総務委員会の委員も分かれて1班2班にいますので、総務委員会を開いた時に、例えばその子ども議会のことはどういう形で意見が出されたのかということをお

聞きながら委員会で討議していこうと思っていました。だからそれぞれみんな各委員会で2つに分かれて両方にいるので、そういう意見交換をしながらかなと思っていましたので、そういうふうに進めていきたいと思います。

西股委員長 今言われた部分もありますので、これは各委員会を開催する時に十分話し合っただけであればというのがあります。ちょっといろいろ気になるのが、もう何回も出ているスクールバスの利用の関係です。

側瀬議長 この2キロをどうするかというのが何回も出ているんだけど、そのままただ言っただけで取り扱っていないからまた質問が出るんだって。

西股委員長 いや、前にやったのは停留所の関係ですよ。停留所がここでなかったらだめだという町の指定があったので、そこならという話になったはずで、どこでも乗れるという話ではないと。乗せろという話なんだけど、前もそれがあってやった時には、そこではないというような感じになってしまうので。

側瀬議長 今回は2キロ以内がという話だったからね。

家塚委員 それは本人が納得したかはわかりませんが、説明はしましたよね。

側瀬議長 あとは話が少し戻るけど、子ども議会のことについてはやはり行政のほうで答えてもらわないと何も意味がないと思うから。議員が受けて、議会ってこんなことをやっているんだという話ではないから。やはり喜ぶのはどこの町のものを見ていても、夕張を見てもどこを見ても、やはり首長が答えてやるようなスタイルだから。その周り環境はうちらがつくって進めようというのがいいと思うんだよね。町がやれないならどうにもならないし、本来からいったら選管がやらなければいけないんだから。やはり受け皿として聞いた以上は、その結論を出さなくてもやれるかどうかというのは町に言って、それだけでいいと思うので。

石川委員 今の子ども議会の話は2班で出た話なんですよ。2班で出られた方はご存じだと思うんですけど、私が司会という形で書きとめたものとしては、中学生に向けて出前講座という形で、それも議会という形でしてほしいという、そういう言い方で言われたのが記録として残っているんですよ。それで、記録係の加藤委員は、中学生を対象に議会懇談会をしてはどうかという話なんですよ。中学生が対象というのは同じなんだけど、そのやり方が子ども議会なのか、出前講座として議会がこんな形でやっているんだということを説明してほしいと言ったのか、そのニュアンスによって全然中身が変わってくるような気がするんです。

側瀬議長 自分も聞いたけど、そんな話だったらやったって意味がない話だから。だからそれはそれでいろんなパターンで、やはりどうせやるんだったら子どもが納得する、子どもたちにやっぱり伝わったということ。

西股委員長 星さんはどのように受け止めていましたか。

星委員 私は、中学生を対象にというこの文章のとおりです。行政が、学校がというふうに捉えました。

側瀬議長 やはり執行権のある人が子どもに答えたほうがいいから。そして新聞紙上を見ても、こうやって下手な議員より子どもたちのほうがすごくいい意見が出たと書かれているんだから、そういうふうやってやったほうがいいんだって。何も執行権もない人間が答えたって、自分が答えるのと同じでそんなもの聞いていな

いから。ただ、そういう段取りとかそういうのは議会でやってくれと。自分はそういうふうになれるかどうかは別として、やるとしたら議員が傍聴席に行って聞いてやるとか、そのほうがよっぽどわかりやすくいいから。

西股委員長 いずれにしても、これは総務のほうでどのような仕上げをしてくるかの話になると思いますので。あとはどうですか。少し気になったのはイラストの関係ですが。

石川委員 イラストの意見は1班のほうから出たのではないかと思うんですけども、私も以前この懇談会とは別な場所で町民から言われたことがあったんですよ。特に新しく来られた方から実際に言われたことだったんですけども、私はまだ来て浅いのに、議会だよりを見せてもらったけどいきなり似顔絵だったら、誰が誰なのか全然わからないと。せめてやはり写真を載せるぐらいのことをしなかったら、顔が見えないですよという形で、それを変えてほしいという要望を一般町民から受けたことがありました。

西股委員長 それに対しては何かありますか。

細川委員 私は1班のほうにいまして、この話を聞いております。町の広報と議会だよりについて話が出ていたんですけども、一応イラストの関係については、新しい今のメンバーになって最初の委員会の時に、イラストでいきましょうという話で申し合わせをしたんですよ。今回この話が出たところで、住民の方にはもう一度持ち帰って協議させてもらおうということで、検討させてくださいという話はしたんです。この場では返事をできないということで、一応議会としてはイラストでいく方向ではいましたという話をしました。

西股委員長 向こうが言っているのがいろいろあって、受け止め方なんだけども、町長のイラストがという話もあるんです。

細川委員 広報でという話と両方出たんですよ。最初は議会だよりと言っていたのに、途中から町の広報の話に変わって行って、町長のイラストの話になったと思うんですよ。

側瀬議長 だけど住民からしたら議会だよりも町広報と混ざっているから同じに思うんだって。だから今言われたように、特徴を捉えているだけで誰かわからないって言うけど、写真を見てもわからないと言われたら、そうなるくと両方載せるしなくなるんだから。馴染んできたらやっとなるようになるんだし。ただ自分たちが判断するだけの話だから。まあ、議会がこうやってやるならこうやってやりますで、それはそれで済むと思うんだよね。だからそれはもういいと思うから、そんなところで写真がいいとかイラストがいいとか、そんな話にはならないと思う。

西股委員長 少数意見だからまだわからないですしね。

熊木委員 今少数意見と言いましたが、私は今期の時に、イラストではなくて写真にしたらどうかという提案をしたけども、結局広報委員会の中ではイラストでと決まったようなんですよね。それで、その1班で発言された方は町長の、とも言いました。病院だよりとかにも院長のイラストを使っているんですけども、そのタッチが広報に載せているイラストとすごく違って、あまりにもデフォルメし過ぎて極端なイラストだと思うんですよ。だから見た印象があまりよくないなと思い

ます。だからやはりそういう意見も出たことだし、それから石川議員もそういうふうに新しく来た方から意見を聞いているということもあるので、やはり尊重して考えるべきだと思いますが、どうでしょうか。

西股委員長 ちょっと私から違う角度でお話しさせてもらうのですが、議会だよりをコンクールに出して選考している中では、一般質問だとかそういうところで似顔絵とかを使うと非常に紙面が柔らかくなって、印象がいいという審査員の先生からの講評も受けていたんですよね。ですから、それであればイラストを使いましょうかということでは今までは使っていたという流れなんです。だからイラストを使うことによって紙面が全体的に柔らかくなるというところにポイントがあったということです。そこら辺はずっとイラストばかりを使うのではなくて、たまに写真を使ってもいいだろうし、そこら辺はうまく広報委員会でやればいいのかと思いますので。ちなみになんですけど、コンクールに出すのは5月号なんですよね。いろんなものが紙面に入っているの。だから5月号の時にイラスト使うけども、ほかは全部写真にするだとか、それもやり方だと思うので。大概5月号でないと、記事だとか広報の紙面の内容がやはりよくないと思うので。ちょうど5月はたくさんネタがあるところを狙ってやっているということで、そこらをふまえてやっていただければと思うのですが、この件について何かありますか。(なしの声)

なければ、とりあえずいずれにしても今月いっぱいまでにはもう一度まち特を開く中で再協議したいというように思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(2) その他

それではその他に移らせていただくのですが、一般質問について皆さんで共通認識というか、そういったことをお願ひしたいなと思うのですが、今回10人で12問ということで、久々に多くなりました。ということで時間が長引くのかなというふうに思うのですが、ある程度やはり質問の内容などを精査しながら、簡潔明瞭な受け答えができるような体制で臨んでいただけないだろうかというのが私からの要望でございます。この件については議長からも一言お願ひいたします。

側瀬議長 なかなかかみ合った質問と答えにはならないと思うから、あとはそれぞれの技量でやっていただきたいし、あれだけ精査されていたら、なかなか時間を長くやるという話にはならないと思うんだよね。だからおかしいことはおかしいで食いついて結構だと思うんです。答弁が漏れたら答弁漏れと言ってくれたら認めるので。あくまでも歯切れよく淡々とやってくれれば、昔はもう無理やり再質問、再々質問までやろうとするから無理がかかった時がたくさんあったんだけど、今は早く終わる人がたくさんいるものだから。訳のわからない再々質問をやるんだったら、すばっと切りのいいところで終わって。そしてまた執行方針はなかなか難しいから。逆に言えば、執行方針は簡単にやったほうが、あとは個人のやつはちゃんとやるし、今回は全員だから期待をしているんだけど。ただそれだけです。

西股委員長 できるだけ簡潔明瞭にというようなことでお願ひしたいなということです。

側瀨議長 あとは答弁者から言われていたのが1点だけあって、石川議員の質問だけど、商工会が困らないんだろうかと言われたから、俺は知らないって言ったんだけど。それはまた商工会と相談もしているらしいから、逆に代表質問という言葉を使ってくれないほうがありがたいなと思っているんだよね。それだったらまた議会自体がってやられても困るから。なかなかそんなところまで言われるとは思ってもしなかったんだけど、そうですかという話をしておいたの。それだけです。

西股委員長 今の関係について何かご意見があれば。(なしの声)

ではその他の2番目に移ります。予特の質問の関係でご提案させていただきたいと思えます。もう皆さん質問の関係等を事務局のほうに出していると思うのですが、特に質問本数が多くなる総務費の関係については、1期、2期の方が最初に質問をすると。3期目以降の方は、1期2期の方を優先させてやったらどうかという事です。やはり質問がぶつかったりした時に難しいというか、次の質問が出てこなくなったりするのも避ける意味もありますので、そのようなことも考えてはどうかというように思っております。補足を議長のほうからお願いいたします。

側瀨議長 誰が見ていても、やはり初めての議員が先にやって、そしてあとは先輩議員が慣れているから、そうやっていくほうが恰好いいんじゃないのかなと。そして、やはりそこで言ってまた同じ質問が出たら困るから、もしそこで言い切れなかったら補足で質問してもいいから、それは委員長采配でやってもいいんじゃないかなと。補足でこの件についてありますかというのを、言いたそうだったら振ってあげて。そうやってやれば言い切れるんじゃないかなと思うので。

西股委員長 今、勝手な提案をさせていただいたのですが、この件についてはどうでしょうか。

熊木委員 私もやたらたくさん質問をつくってしまったんですけども、事務局にはあらかじめ、重なったりしたものはもちろん取り下げるし、新しい議員が先に質問してくださいというふうにお願いはしてあるので、もう今重なっているところはバツにして取り下げていきたいと思えます。

側瀨議長 いや、けど言い切れなかった部分があったら、熊木さんが関連でとってくれば、中身がよくなってくるから。

西股委員長 では、そのような形でやらせてもらってよろしいですか。(はいの声)
それではそういうことで進めさせていただきます。

続きまして、まち特の今後の活動ということで出させていただいております。前も少し話したと思うのですが、まち特でやっている内容をまとめたものです。ですからこういうような形でも何でもいいのですが、産経・総務でどうするのかということを書いていってほしいと。今までやった経過と今後どういうふうにするのかということですね。これは例なので、各常任委員会等で何をやっているのかということを確認するということをお願いしたいと思えますが、この件に関しては何か質問等ありますか。特にないですか。(なしの声)

なければこれについては、一応3月末までの部分でやっていただいて、そしてまた4月から何をやるのかという事業の計画、令和6年度に何をやるのかということも決めていっていただきたいと思えます。期限は4月の中くらいまでの間をお願いしたい

と思います。ご質問はありますか。(なしの声)

なければそのような形で進めます。その他のほうで、私のほうからは終わったんですが、皆さんのほうから何かありませんか。

細川委員 広報の関係で申し訳ないんですけども、事務局のほうとも少し関係がありまして、今回は一般質問が12問とすごく多いので、議会だよりに載せる文字数をある程度決めておかないと、一般質問の後にまとめていただくのに1人1ページなんてできませんので。大体今までは1ページで1,500文字と言っていたんですけど。

議会事務局主査 2問ある方は1ページ使おうと思っていました。1問の方は半分の600字ぐらいで、600から700字でお願いしたいと思います。

西股委員長 それは多良木町の一般質問の受け答えの記事を参考に見ておいてください。

細川委員 ではそういうことで、1問の方は600字で、2問の方は1,200文字ということでよろしくお願ひしたいと思います。

議会事務局主査 QAを除いて、文書だけで600字です。

細川委員 中身だけで600文字ということでよろしくお願ひいたします。

西股委員長 それではそういうことでやります。そのほかにはありませんか。

家塚委員 前にも少しお話ししたと思うのですが、全員協議会などが終わった後、町からの説明に対してわからない部分だとかをやりとりをするんですが、それが終わった後に全体で自由討議といいますか、それぞれの説明を受けたことに対してもう少し議員同士で闊達に意見を取り交わすといいますか、そんなことも必要なのかなということで思っているのですが、今日お話ししたいのは、分科会形式で、例えば少人数の3人なり4人なりでテーマを決めて、自由討議をしたらどうかと感じています。それはなぜかというと、私どもは新人議員なので、なかなかほかの方のご意見もどういう考えを持っているのかということもわからないと。そういう自由討議の中で、共通認識に立つ部分だとかも当然出てくるのかなということで、何かテーマを決めてそれぞれ分科会形式で自由討議をやると。いろんな議会だとかを見ていても、やはりそういう議員間同士の意見を交わすことがやはりこれから施策を考えていく上でも重要な部分かなという気がして、ちょっと今日お話をさせていただいたのですが、どうでしょうか。

西股委員長 今の分科会式について、少人数でそういうような意見交換をするというか、自由討議をすると。1つのテーマを決めて、そして3つの班が同じテーマでもいいんですよ。

家塚委員 いいと思います。

西股委員長 同じテーマを3つぐらいのグループの中でいろいろ話して、そしてそれを持ち寄って全体で話すという流れでやりたいというような考え方を今言われたのかなと思うんですが、それについてのご意見をお伺ひしたいと思います。いかがですか、加藤さん、目が合ったので。

加藤委員 こういう提案というのはちょっとやってみたいなという、率直な感想ですね。確かに自分自身も議員になってまだ4年経っていない、2期目ではあるん

ですけれども、まだ経験値として浅いと思うので、こういう一つのテーマに対しての自由討議を積み重ねることで、資質の向上にもつながるのかなと率直に思いました。

西股委員長 ほかが意見はないですか。

佐藤委員 皆さんの意見を聞くというところではすごくいいアイデアかなとは思いますが、ただ小さな分科会というイメージがわかなくて、今は総務と産経で分かれていますよね。その中で、総務に関するテーマ、産業に関するテーマという感覚ならわかるんですけども、そういうのは全く関係なく、例えば人口減少問題だとか教育とか、そういう話をするというイメージなんですか。ちょっとイメージがわからないんですけども。

西股委員長 少し勘違いされていると思うんですけども、話を聞くのではなくて、みんなが意見をぶつけ合うということなので。だから協議をみんなでするよということ。3人くらいのほうが意見を出しやすいだろうということが今言われたものなんです。テーマはこれから考える話なので。

佐藤委員 わかりました。そんなに難しくなく小単位で議論していきましようというお考えでいいということですか。

家塚委員 なかなか議長を除いて10人なので、例えば全員でといったらなかなか自由闊達に意見の交換ができないと。やはりそれをどうやって闊達な意見を出すかという、少し縮小して3人だとか、そのほうがより意見が出しやすいのかなと。今回の懇談会もそうですが、ああやって分かるとやはり自由な意見も出るということもありますし。今回考えているのは、例えば議会改革だとか、そういうことに対して皆さん今まで取り組んできていることもあるのですが、その辺を自由に意見交換する形といいますか、そういうイメージで今はいます。だからあまり堅苦しくなくといいますか、やはりそれぞれ今まで議員活動をやってきている中での経験も我々新人に教えていただいて、その中でやり方も覚えていくとか、そういうものも含めてという考え方です。

西股委員長 議長は何かありますか。

側瀬議長 自由討議の要綱はつくって、みんな持っているでしょう。あまり自由討議だからって何でも協議するというのはほかの町では当てはまらないし、やはり1点なら1点で、もう今回だったら一般質問が終わってからみんなでどうだって。必ず一言みんな喋るようにしたらいいなと思っているし、うちが入った頃は自然に自由討議みたいなことは、こういう所ではやらないけど、会派でもないけど集まっているいろんなことをした経過があるので。やはり旧態依然でやっているとなってしまうし、少人数でやると意見は出るかもしれないけど、どうなのかな。やっぱり普通一般的に議会の自由討議というのはみんなやって、そして項目は一つなら一つで、お互いにそれで喋れるとか喋れないとか、そういう話ではないと思うんだよね。そのことについてまた分かれて自分たちでやるのはいいと思うけど、やはりきちんと物事を残していくとなったら、時間がかかって大変だと思うけど。どういうふうにやろうとしているのかわからないけど、やはりもう少しみんなもインターネットやなんかでほかの町がやっていること見たほうがいいから。そう

したらもっとわかりやすいと思う。今こちらは簡単なことをやっているからそういう話になるけど、本来町をどうするかというそういう話が主だから、お友達どうしで喋っているような、そんな話じゃないから。

西股委員長 今やろうとしているのは、ある程度の訓練と言ったらおかしいですけど。

側瀬議長 いや、やりたいようにやってもいいけど、やっぱりやるなら続くことをやらなかったら、手始めにやってみますかというの。だけどテーマ決めないと絶対だめだから。

西股委員長 テーマは確実に共通のテーマをやるように、大体3人か4人ぐらいの中でやると。とにかくそれでやったものを、次はまち特の中でまた協議するというのを何回も繰り返すということになってくると思うので。

側瀬議長 今テーマを持つとしたら、何をテーマにするんですか。

西股委員長 今言ったように議会改革がいいのかわからないし、また今は一般質問を10人やるんだったらその反省会をしてもいいし、テーマはなんでも。

側瀬議長 議会の活性化になるならみんなで作ってもらえばいいけど。

西股委員長 やはりいかに活性化させるかというか、そういうこともあるので。

側瀬議長 今までと同じことをやっているんだったら、議会改革といわないから。今までやっていないことをやらなかったら議会改革ではないから。そうしたら今違うことをやるんだから、議会改革になってくれればいいなと思っているだけで。

西股委員長 やはり今急激に新しい方が入り過ぎてしまうと、少しどうかなという部分もあるかもしれないので、議長にとっては物足りなく感じている部分もあるかもしれないし。

佐藤委員 提案なんですけれども、その議題を決める時に、課題になることとか皆さんが今こういうことをテーマに話したいとか、そういうことを皆さんのほうからある程度聞き取ったほうがいいのではないかなという思いはしています。

西股委員長 それはやるんですけれども、まずこういう形を進めるかどうか。いいのかわるいのかをやって、その部分はっきりさせてから次のステップでその部分はやればいいのか。テーマはおおよそのものは先ほど話しているんですけれども、こういう形で進めるということに異議のある方は言っていただければ。

熊木委員 家塚さんの最初に発言した提案はいいと思います。本当は人数的には11人だから、多い人数ではないんですよ。だから本当はこの11人の中で自由闊達な意見が毎回出れば何もそれに越したことはないんだけど、意外と委員会に分かれても、なかなか意見がどんどん出ない時のほうが多いかなという感じがあるので、ちょうどもうすぐ1年経つので、そういう中でちょっと今やり方を工夫してやってみて、それからそれが定着してきたら普通に戻せばいいのかなと思います。ただ、その分科会で、今回1班2班に分かれた議会報告懇談会でも、やはり文字だけで見たらどのような内容だったのか少しわからないものがありますよね。それが分科会に分かれると、一応報告しあっても細かいところまではなかなかわからないというのはきっと出てくると思うので、基本はやはりみんなで話し合え

るところに戻っていくのが望ましいのかなと思います。

側瀬議長 あとはもう必ず決めてやらなかったら、なかなかできないから。簡単なのは、全員協議会というのは相当重たいものがあるから。だけど大体結論を出していかなければならない、もうぎりぎりを持ってくるやつだから。定例会に向けてとか。だから全員協議会が終わった後は必ずやるとか、2つに分かれるなら2つに分かれるとか。そうしたらもうテーマなんて決まってしまうからね。そのほかに議会改革だとか、そんなものを入れれば自分はいいと思うんだけど。それぞれテーマといたって、もう時期尚早というのものもあるし、もう時期遅れというのものもあるし。今すぐの練習の場だったら、全員協議会にかかった項目が何項目もあって、その日のうちにみんなで本当に話さなければならぬような、全員納得しているものもあるし、納得できない、変だなと思っているものをどうだとかってそこでやっつけば、それに突っ込んでいったら必ず全員協議会の時に時間をかけてもやるという、それだけでも決めていけば、年間に何回もないと思うんだよね。そこで結論を得なかったらまた分かれてやればいいだけだから。新たなテーマで議会改革といたら大き過ぎて、いつも言っているけど議会改革というのは自分が変わらなかったら議会改革にはならないんだから。だからその辺のやり方はまち特に任せていいと思うし。

西股委員長 やり方で考えていたのが、まち特をやる日の午前中なり午後の初めくらいの1時間くらいをそういう時間に当ててもいいのかなと。

側瀬議長 通常のやつはね。だけど、必ず全員協議会の時はやはり町民から見て全員協議会にかかったことについて、よく協議して結論を出したのかと聞かれた時に、やはり絶対そこでやっておかなければならないと思うんだよね。

西股委員長 それはそれで全員協議会でやればいいし、それを分科会でやるのもいいだろうし。

側瀬議長 10項目やったって、本当にみんなでどうだとやるのは1項目か2項目しかないの。必ず全員協議会の時にはこれをやるんだというものを持ってやって、あとは通常のテーマを持って。でも大変だと思うよ。

西股委員長 とりあえずのところは、やはり発言力を高めていこうというようなことを狙いとして考えながら進めていこうと。とにかくやはり自分の考え方を表に出るようにアピールできるような形にまずはしていかなければならないのかなというふうに思うんです。そういう流れの中でとりあえずのところは進めるということをお願いしたいと思います。よろしいですか。

側瀬議長 最後まで続くようにやってくれば。

西股委員長 あとはテーマなどについては、その中で話し合いたいというものがあればそれぞれで出していただければと思います。その中からみんなで協議してどうするかというのを決めればいいし。それで、どういうふうに分けるかということもまだ決めていないので、そこらも考え方としてはやはり新人さんは必ず分かれるだとか、各委員長も絶対分かれるだとか、そういうのを含めて考えていこうかなと思うのですが、議長は入りますか。

側瀬議長 入らない。

西股委員長　ということで議長が入らない形になりますので。実際に書記も何も置かないし、事務局も置いてやるわけでもないの。

側瀬議長　だけど、自由討議はある程度やった項目だけはちゃんとしていかなかったらいけないから。

西股委員長　自由討議が終わった後には、全部またまち特のほうでやるということで。

側瀬議長　そしてある程度固まったら報告をしないと。そうでないとただ喋って終わってしまうぐらいのものだったら、やはり発言力をつくかもしれないけど、何人かしかつかないような気がするんだよね。

西股委員長　とりあえず、班割りというかそこらも検討して、次の段階で出せるようにしたいと思います。あとは話し合う内容、議案というか、1回目はこういう話をしたらどうだろうかというものがあれば、それはこの議会をやっている間の13日までに言っていただければ。次のまち特を開く時に、皆さんから来たものに対して何をやってどうするかという班分けと一緒にやるという形で。

側瀬議長　だんだん遅くなるから、もう議会が終わったらすぐに自由討議で、特別委員長に班分けをしてもらって、テーマを出してもらっても結構だから。そうしないと、それにあわせてといたらろくなことにならないから。

西股委員長　わかりました。それでは、これについてはまち特の副委員長と協議して大至急進めさせていただきます。あとは班割り等については副委員長と相談しながらいろいろ決めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

側瀬議長　あとはみんなそれぞれほかの議会との付き合いもあるだろうから、新たな項目で物事をやっているとか、これがいいなというものがあつたら言ってもらって、やはり何でも物事を始めるといったら、いいものは人のまねをしていくのが一番早いからね。だからもしほかのほうで取り組んでいるものがあれば出してもらって、やっぱりいいものはうちらも活用させてもらわなければならないから。あまりうちの町だけで凝り固まったことをやっていたって全然改革にならないと思うから。

西股委員長　ということでございますので、胸に刻んでということでよろしいでしょうか。(はいの声)

ほかに何かありますか、皆さんから。

熊木委員　私は今何が一番というのは、議員の役割というか、今回一般質問に対してもいろいろ干渉がありましたよね。そういうところで、私もちょっとあちこち交流してきました。それで、ある議会では道の事務局に講師を派遣してもらって、議員で勉強会をしたそうです。そういう勉強会の中で、二代表制の中で議員の権利というところをしっかりと講演してもらったというところで、やはり今それが私は必要だなと思っているんですよね。中尾さんに本当は研修をしてほしかったけどできなかったの、やはり早く事務局とも相談しながら、そういうことを新年度はすぐにやっていったほうがいいのか。私は今すごく必要性を感じているところです。

側瀬議長 中尾さんについては切れたわけではないから。今やはりどうせやるなら中尾さんもちょうと勉強してから来たいというから。あとは内容の精査をすればいいだけの話なので。本来からいったら、そういう行政とのやりとりの時は行政側もその講演聞いてくれればいいんだけど、そうはならなかったら全くただ溝が深くなるだけで。うちらもいろんなことを勉強したほうがいいから、やはり有効にお金を使っていかなければならないし、自分から行くのではなくて外部からの人も入れて勉強会をしたほうがいいと思うんだよね。それと今回多良木へは半分の人数で行くんだっか。多良木に行って、その帰りにどこか視察してくると。全員では行けないけど。やはりいろんな事件・事故があったりすると大変なので、なるべく遠くに行く時には2つに分けようかなと。なぜ2つに分けるかといったら、今はもうバス代だとかもすごく高いんだよね。やはりその時の公務災害とか、その辺をきちんとしておかなければだめだということもあるから、それで今年はそういう形で、半分が道外と多良木に行くと。その次がまた半分で、最終年度は道内という感覚で、予算要求はそれでいいんだよね。あとは講師を呼んで、しばらくの間勉強会は中尾さんでいこうかなと思っているので。やはり基本条例を一番先につくった人だから、その流れをしっかりと学ぶと。そして栗山だし、そのほかに前には何人も講師に来てもらってやった経過もあるから。やはり住民から見える化しないと、定着するためにもそれがいいのかなと。そのあと勉強して何だったのかということにならないように、やはりしっかりとテーマを決めてやらなければいけないと思っているから。そんなことで計画させてもらうので、まずとりあえず7月ぐらいかなと思っているので。

佐藤委員 すいません、その他で自由討議ということについて話してもいいですか。今までうちの議会ではあまり私は経験したことはないんですけども、近隣の市町村との議員懇談会をやっている所もあるんですね。それで、なぜかというやはりだんだん人口減少になってきて、もう自分の町だけというよりも、本当にいろんな形で広域的に物事を考えていかなければいけないのかなという、江別、北広島にしてもやはり陸続きでいろんな影響があるわけですよ。そういう部分で、近隣市町村とも議員懇談会を行うという考えはどうなのかなという思いがあるんですけど、皆さんどのように思われますか。すごくハードルを高くしてしまうといろんなものができないとなってしまうと思うんですけど、先ほど一つのテーマに人口減少とか、高齢化とかのために町と町とかそういう部分で何かいい策はありますかとか、そういう話し合いができるのではないかなと思うんですけど。

西股委員長 かなりやはりハードルが高いと思うんですよ。各議会のほうとも調整がかなり難しいのかなと思うんです。少ない人数というか、例えば葬斎だとか、そういう限られたところでうまく懇談するんだったらうまくやればいいんですが。

佐藤委員 今、夕張市が南幌を抜かした南空知の議会と定期的に議会懇談会をやっているんですよ。なぜ南幌がしないのかはわからないんですけど。

石川委員 夕張郡の議会だからですかね。

側瀬議長 由仁と栗山は前からやっているから。誘われたこともあるんだけど、

遠いから行かないと言っただけで。

西股委員長 定例化するの難しいかもしれないですね。

側瀬議長 議員でやろうとした経過もあるんだよね。Fビレッジの関係で北広島が会長で、自分が副会長で。けどなかなかややこしいのは、夕張だとか栗山だとか、由仁くらいがどうもうまく流れに乗ってなくて、南幌・長沼は近いからいいんだけど。それで北広島市役所に寄って会議体もやったんだけど、もうそれ以降はなかなかね。だから1町、2町でやるならいいけど、市を交えたりしたらレベル高過ぎてなかなか。だから佐藤さんみたいに会派を持っている所だったらすっとやりやすいのかもしれないけど、こちらは無所属だから大変なんだよね。

西股委員長 今は分科会式をやるだけやってみて、その中でどのくらい意見を出せるようになったのかとか、そのような流れを見てからでないかと、ほかの議会とそこまでいくような話にはならないと思うんだけど。

側瀬議長 あと、そのためにはテーマだけ2、3本決めてもらって、そしてやってもらわないと。違うことばかり話したら、なんの意見を上げたかわからないようになるから。

西股委員長 だからどんどんレベルアップするためにはみんながどんどん意見を闘わせるだとか、そういうスタイルで進められるようにしていかないと。そうしたらもうどこかの違う町との話し合いをするだとか、そういうことも可能にはなると思うんです。聞くだけの話ではもう全然話にならないから。栗山のやっていることをずっと見ていたら、こんなにやるのかという話になるから。そこらは頭の中に入れておくんだけど、とりあえずまずはこれを進めましょうということで、よろしいでしょうか。(はいの声)

ほかに何か皆さんありますか。(なしの声)

では、明日に備えてやめるということでよろしいでしょうか。(はいの声)

お疲れさまでした。

(午後 3時10分 終了)